

赤十字 NEWS in 徳島

赤十字の人道活動は皆様方の
日本赤十字社活動支援費(日赤社費)で行われています
ご協力をお願いします

第31号
平成26年7月
発行

発行所 日本赤十字社徳島県支部
〒770-0044 徳島市庄町三丁目12番地1
TEL 088-631-6000
FAX 088-631-6100
URL <http://www2.tcn.ne.jp/~jrcawa1/>



今年度任命された日本赤十字社徳島県支部の救護員

「いざ」に備える、「救護の精銳」

災害時の医療救護活動を迅速に行うため、本年度日本赤十字社徳島県支部の救護員として任命された医師や看護師、主事など約100名が参加した習熟訓練を、去る5月17日徳島赤十字病院で行いました。

訓練では、業務用無線機の操作方法や災害用移動炊飯器を使った炊き出し、さらには東日本大震災での経験を踏まえ災害対応能力強化のために新しく配備した、耐久性・断熱性に優れた大型テントを設営。重量が300キログラムを超えるため、慎重に手順を確認しながら「セーのっ」と息の合った掛け声をかけるとスムーズに立ち上げることができました。参加した救護員は「災害時には救護拠点となるこのテントを迅速に設営し、的確な救護活動を行いたい」と力強く語っていました。

日本赤十字社の 災害救護体制

日本赤十字社では災害に備え、全国で499の医療救護班、人員にして6,773名の救護員を常備し、ひとたび災害が発生すると全国から救護班が被災地に駆けつける体制を整えています。東日本大震災では、発生直後から約6カ月間で全国から894班、約6,500名を派遣し、岩手県、宮城県、福島県の3県を中心に7万5千名以上を診療。被災地で活動した全救護員のうち、半数以上は日本赤十字社の救護員でした。

徳島県支部では、医師1名、看護師長1名、看護師4名、薬剤師1名、救護主事1名の計8名からなる医療救護班を7班編成し、「いざ」に備えています。

夏に起こりやすい水の事故。正しい対処法で尊い命を守りましょう。



パニックにならない

人間は水中で自然と体が浮きます。バタバタしたりせずに、仰向けの状態で浮き(背浮き)、助けを待ちましょう。



助けを呼ぶ

119番通報をしましょう。
近くの人に助けを求めましょう。



助けるときは飛び込まない

服やタオルなどを使って助けましょう。
ペットボトルやビニール袋など浮きになる道具を投げ入れてもいいです。

赤十字では、水の事故から命を守る「水上安全法講習」や心肺蘇生・AEDの使用方法などが学べる「救急法講習」など、さまざまな「いのちと健康」を守る講習を開催しています。
あなたも赤十字の各種講習を受けて、尊いのちを守りましょう。お問い合わせ 日本赤十字社徳島県支部 TEL:088-631-6000 URL: <http://www2.tcn.ne.jp/~jrcawa1/>

新島八重の思いをあなたへ

赤十字奉仕団リーダーを養成 ～赤十字リーダーシップ研修会開催～

地域における奉仕団活動の中核を担うリーダーを養成することを目的として、「赤十字リーダーシップ研修会」を3月19日、当支部事務局で開催しました。

本研修会には県内各地域から43名が参加。赤十字のしくみと活動について学んだ後、災害用移動炊飯器を使って炊き出しを体験したほか、外部講師による「ボランティア活動」をテーマとした講演や災害時のボランティア活動への取り組みについてのグループワークを実施。赤十字ボランティアとしての自覚を新たにするとともに、奉仕団活動に大切な「気づき・考え・実行する」姿勢の大切さを学びました。

研修会を終えた参加者からは、「今回の学びを活かし、地域でリーダーシップを発揮して、奉仕団活動をより良いものにしていきたい」などの声が聞かれました。



互いの意見を尊重しつつ回答をまとめる参加者

渾戦士エディーと学ぼうAED 大切な人の命を救うのは君だ!!

一般の人がAEDを使用できるようになつて10年、約40万台が全国の公共施設等に設置されていると言われています。一方で、「使い方がわからない」あるいは「電気ショックが怖い」等の理由から使用を躊躇する人もたくさんいます。

そこで、赤十字運動月間である5月18日、ゆめタウン徳島でご当地ヒーロー「渾戦士エディー」によるAEDの使用方法を普及・啓発するイベントを開催しました。

デモンストレーションでは、エディーが心肺停止状態になった女性をAEDで助けると、「エディーのように大切な人の命を守れるようになりたい」と多くのちびっ子がAEDの体験コーナーに駆け寄りました。

エディーにAEDの使い方を教えてもらった男の子からは「倒れている人を見つけたら、すぐにAEDを使って助けてあげたい」と、頼もしい声が聞かれました。



エディーにAEDの使い方を教わる小さなヒーロー

マ「八重の桜」で一躍話題になつた新島八重氏。篤志看護婦人会（現在の赤十字奉仕団）の一員として救護活動や看護婦の育成に尽力されたことはご存知でしょうか。

去る1月27日、赤十字関係者約650名が一堂に会し、あわぎんホールで開催した「赤十字の集い」に、新島八重の研究者である日本赤十字社田島弘参与をお招き

し、「新島八重と赤十字のこころ」と題してご講演いただきました。田島参与は「新島八重氏の信条は『敵味方区別なく救護する』という赤十字の本質に基づいており、私たち奉仕者の原点です」と熱く語りかけました。

多くの奉仕団員は、「八重さんを見習い、奉仕活動を頑張らなくては」と、決意を新たにしていました。



赤十字の本質を語る田島弘参与



特製歯ブラシできれいに歯みがきできるかな？

徳島赤十字乳児院では、地域の子育て支援を目的として、「子育てスペース にこにこほっぺ」を毎月1回開催しています。

季節の行事をはじめ、親子でふれあい遊びをしたり、自由遊びの中でお子さん同士も交流しています。また、保育士や看護師、栄養士による育児相談も行っています。

5月16日に実施したにこにこほっぺでは、歯と口の衛生週間が近いことから、親子で一緒に歯の健康と歯みがきの大切さを楽しみながら学んでもらいました。

子ども達は『歯磨きマン』に変身して歯みがきの歌を歌ったり、大きな特製歯ブラシでぬいぐるみの歯みがきをしました。また保護者の方には、乳児院の管理栄養士による「子どもの歯に良いおやつ・悪いおやつ」についてのお話を聞いていただきました。

手作りおやつの時間には、カスター（アレルギーのあるお子さんにはオレンジゼリー）を親子で一緒に食べました。手作りおやつのレシピは、家庭でも作っていただけるよう参加された皆さんにも配布しています。

お申し込み・ご相談は、
徳島赤十字乳児院（電話：0885-32-0555）まで
ご連絡ください

パパママじゅしょに
にこにこほっぺ



「ハイブリッド手術室」とは、手術室の機能（空気清浄度を保つための空調、医療ガス、非常用電源、無影灯、手術台など）にアンギオ（血管撮影）装置を加えたものです。

手術室と撮影装置を統合したという意味でハイブリッド（hybrid）と呼ばれています。通常の手術に加え、脳動脈瘤コイル塞栓術（血管の異常な膨らみにコイルを詰めて破裂を予防する方法）やステントグラフト内挿術（動脈瘤の部位に、ステントといわれるバネ状の金属を取り付けた人工血管を埋め込む方法）などの「患部を切らない手術」も行うことができます。

徳島赤十字病院も現在、TAVI導入のための施設認定に向けて準備を進めています。

※hybrid：2種類以上の要素の組み合わせの意

特に、これまで高齢などの理由で手術ができなかつた約3割の大動脈弁狭窄症（血液の循環不全が起る疾患）の患者さんに対して、負担の少ない先進治療「TAVI」経カテーテル大動脈弁留置術（もしくは置換術）を行うには必要不可欠な設備であり、中四国ではまだ岡山県と山口県の3施設でしか導入されていません（2014年5月現在）。

できます。

昨年、NHK大河ドラマ「八重の桜」で一躍話題になつた新島八重氏。

篤志看護婦人会（現在の赤十字奉仕団）の一員として救護活動や看護婦の育成に尽力されたことはご存知でしょうか。

去る1月27日、赤十字関係者約650名が一堂に会し、あわぎんホールで開催した「赤十字の集い」に、新島八重の研究者である日本赤十字社田島弘参与をお招き

し、「新島八重と赤十字のこころ」と題してご講演いただきました。

多くの奉仕団員は、「八重さんを見習い、奉仕活動を頑張らなくては」と、決意を新たにしていました。

（赤十字の本質を語る田島弘参与）

徳島赤十字病院に「ハイブリッド手術室」が完成



人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 スローガン

平成26年6月より

献血の受付方法が変わりました

①電子カルテ化によりペーパーレスに

献血申込書が電子化され、会場ではICカード（会場カード）を使用します。

※「会場カード」取り違い防止のため、献血受付の際に「会場カード」の番号を書いたリストバンドを手首に付けさせていただきます。

②問診はタッチパネルで

献血ルームなどの固定施設ではおなじみのタブレット端末を、献血バスでも使用します。

③生体（指静脈）認証で本人確認

献血者の方が機械に指をかざすだけで、迅速かつ正確な本人確認が可能となります。



大盛況!!若者にアピール 「マチ★アソビ」献血

平成26年5月3日から5日に行われたアニメイベント「マチ★アソビ」。今年も、徳島市東新町の献血バスとJR



徳島駅前アミコビルの献血ルームでコラボしました。今回の記念品は、人気アニメ「Fate/Zero × 献血」特製ポスターとクリアファイルのセット。3日間で合計500名の方に献血のご協力をいただきました。たくさんの方々のご協力、誠にありがとうございました!!



定期献血行っています（献血バス）

●マルナカ徳島店 偶数月の第1土曜日（平成26年4月より変更） ●ゆめタウン徳島 毎月第3日曜日 ●フジグラン北島 毎月第4土曜日

詳しくは徳島県赤十字血液センターホームページをご覧ください。 <http://www.tokushima.bc.jrc.or.jp/>

複数回献血
クラブ会員
募集中！

血液が不足したときなどにメールで献血を呼びかけ、血液の安定供給を図るためのクラブです。
成分献血・400mL献血にご協力いただける方は、ぜひ会員登録をお願いします。

会員特典

- 会員限定デザイン献血カードを発行
- 過去の献血記録（検査成績）を携帯から確認
- 新規登録者へ記念品進呈

メールはこんなときに

- 献血のお願い
- 献血に関する最新情報やお知らせ
- イベントやキャンペーンのご案内



登録 方法

右のQRコードを読み取るか、
abo@kenketsu.jp に空メールをお送りください。

※迷惑メール対策などで受信ドメイン指定をされている方は@kenketsu.jpからのメールを受信できるように設定変更をお願いします。



<日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します>

・日本赤十字社徳島県支部事務局 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-6000 ・徳島赤十字病院 小松島市小松島町字井利ノロ103 TEL:0885-32-2555
・徳島赤十字ひのみね総合療育センター 小松島市中田町新開4-1 TEL:0885-32-0903 ・徳島県赤十字血液センター 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-3200
・徳島赤十字乳児院 小松島市中田町新開2-2 TEL:0885-32-0555